

ハンセン病 剥奪された人権

1873年 アルマウエル・ハンセンがらい菌を発見。

1907年 第23回帝国議会に「癩予防ニ関スル法律案」が提出。

1929年 「無癩県運動」始まる。

1930年 日本最初の国立療養所、長島愛生園が発足。

1931年 らい予防デー（第1回目）

1936年 長島愛生園で、長島事件発生。

1947年 長島愛生園にて入所患者（結節型）10名に対しプロミン試薬の実験投与。

1951年 全患協が発足。

1996年 らい予防法廃止に関する法律が成立。

2001年 熊本地裁、原告勝訴の判決。

上映時間 25分

ビデオ版 78,000円

価格は税抜[C#2882]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>

制作にあたって

この作品では、現在も国立のハンセン病療養所に暮らす人々、院長及び関係者の証言を取材し、ハンセン病隔離の不幸な歴史と現在の状況を描きます。そして、現代に生きる私たちが、今、考えなければならない人権意識を問います。

作品内容

日本全国には孤島や辺境の地に15のハンセン病の療養所があり、入所者は現在合計4450名、平均年齢は74歳と高齢化が進んでいます。

瀬戸内海に面した岡山県邑久町にある長島には、国立のハンセン病療養所「長島愛生園」と「邑久光明園」があります。

邑久光明園の中山秋夫さんは昭和14年以来63年という長い年月をこの療養所で過ごしました。中山さんは発病から入所までの経緯と、病気に対して差別、偏見をうけたことを語ります。「邑久光明園」の牧野院長は、らい菌は感染力が極めて弱く、かつての日本の劣悪な衛生や栄養状態で、抵抗力の弱い乳幼児や免疫力の弱い人が感染したが、1943年特効薬プロミンの開発によって、今では治療も確立し完治できる病であることを語っています。

ハンセン病は、原因や治療法がわからなかった時代、「業病」といわれ、仏教経典にも「現世に白らいの病を得ん」と記され、仏教布教のため民衆に恐怖心をあおる手段として引き合いに出されました。

明治期に感染症と判明すると、「恐ろしい不治の病」、「業病」という意識のまま、さらに恐れられ、偏見は払拭されませんでした。

それどころか、明治政府は、1907年「癩予防

ニ関スル件」を制定しハンセン病を「国家の恥」として公立の療養所を設置し、患者の隔離、収容に努めたのです。

東京東村山にある「多磨全生園」に暮らす平沢保治さんは、療養所とは名ばかりで、刑務所同様の厳しい監視下に置かれ、自給自足の強制労働を強いられた事を語ります。入所者には逃走防止のため「園内通用券」が渡され「特別病室」と呼ばれた監禁室も設置されていました。

1996年、入所者の悲願が実り「癩予防ニ関スル件」から続く「らい予防法」が廃止されました。また2001年5月「国の隔離政策は違憲」との判決も出され、国は控訴を断念。これによってハンセン病問題は解決したかのように思われがちですが、依然根強い差別の実態と、国民一人一人の心に潜む偏見は拭いきれません。

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

プロデューサー・・・中鉢 裕幸 撮影・・・松丸 武彦
脚本・監督・・・大熊 照夫

現代社会と人権シリーズ 4作品

ハンセン病 剥奪された人権	女性の人権を考える
日本に暮らす新来外国人	同和問題の残された課題

2002年作品

P.

関東営業所 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
札幌出張所 札幌市中央区南一条西7-4 〒060-0061 ☎011-231-1439
関西営業所 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730-0042 ☎082-249-3930
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766
名古屋出張所 名古屋市中区錦3-24-3 〒460-0003 ☎052-971-0923
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101